

希少金属資源開発推進基盤整備事業

令和3年度概算要求額 3.8億円（2.5億円）

事業の内容

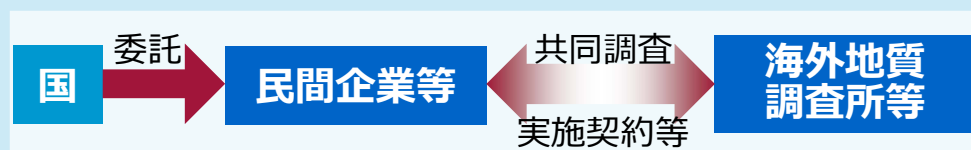
事業目的・概要

- 希少金属資源は、自動車部素材、IT製品等に添加され、工業製品の製造や素材の高付加価値化に欠かせません。
- このため、令和3年度は、初期的な資源探査や探査技術の高度化等を実施し、有望な鉱床の早期発見を目指します。
- 有望な調査結果が得られた場合には、資源開発の権利等を我が国企業に引き継ぐことによって、希少金属資源の供給源の多角化を図り、安定供給を確保します。

成果目標

- 初期的な鉱物資源探査技術の高度化を図り、有望な鉱床の早期発見を目指します。
- 鉱物資源（ベースメタル）の自給率（金属需要に占める自主開発鉱石とリサイクル原料の割合。平成30年度は50%）を令和12年に80%以上に引き上げることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

素材の高付加価値化に不可欠な希少金属資源等

（自動車の例）



- エンジン部品（チタン）
- 超硬工具（タングステン）
- 製品添加物（樹脂難燃剤（アンチモン）、液晶（インジウム）、ガラス（レアース））
- 車体（ニッケル、モリブデン、クロム、ニオブ、マグネシウム等の鉄鋼材料）

希少金属資源の調査

有望地域の抽出

- 衛星画像解析による調査
- 有望地の情報収集・解析・評価
- 相手側機関との事前調査、協議・契約等

資源探査の実施

- 地質調査、地化学調査、物理探査、ボーリング調査等の実施

● 衛星画像解析等の調査・物実証探査
探査技術の高度化